

第3回 北海道病院事業推進委員会 改革推進プラン検討部会 議事録

1 日時

令和4年10月17日（月）18:00～18:35

2 場所

Web開催（部会長及び道側は、道庁別館3階病院事業管理者室から参加）

3 出席者

(1) 改革推進プラン検討部会委員

佐古部会長	（一般社団法人北海道医師会 副会長）
岡村委員	（名寄市立総合病院事務部長）
土橋委員	（札幌医科大学附属病院 病院長）
堤委員	（北海道済生会小樽病院みどりの里施設長）
椿委員	（全国自治体病院協議会北海道支部 事務局長）
平野委員	（北海道大学大学院医学研究院教授）
平林委員	（砂川市立病院事業管理者）
牧野委員	（旭川医科大学地域共生医育統合センター 教授）
松原委員	（特定医療法人社団慶愛会札幌花園病院院長）

(2) 北海道（事務局：道立病院局）

鈴木信寛	病院事業管理者
道場 満	道立病院部長
畑島久雄	道立病院局次長
山中 剛	道立病院局次長
野尻彰生	道立病院局病院経営課長
石井安彦	道立病院局人材確保対策室長
有村誠一郎	道立病院局経営改革課長
小俣憲治	経営改革推進指導員 ほか

4 議事

【事務局】

予定の時刻となりましたので、ただいまから、「令和4年度 第3回 北海道病院事業推進委員会改革推進プラン検討部会」を開催いたします。

開催に先立ちまして委員の皆様の出席状況を報告させていただきます。

本日は、佐古部会長、岡村委員、土橋委員、堤委員、椿委員、平野委員、平林委員、牧野委員、松原委員が出席しております。

次に資料の確認をさせていただきたいと思っております。

資料1といたしまして、「プラン検討部会における各委員からの意見」、資料2といたしまして、「北海道病院事業改革推進プラン【改定版】素案（案）について」、参考資料1といたしまして、「北海道病院事業改革推進プランの改訂に係る基本的な考え方について」、参考資料2といたしまして、「北海道病院事業推進改革推進プラン【改訂版】素案（案）新旧対照

表」となっております。

それでは、これからの進行につきましては佐古部会長にお願いしたいと思います。
よろしくお願ひいたします。

【部会長】

それでは、これから私が進行させていただきます。よろしくお願ひいたします。
本日は、プランの素案（案）に関する議論を進めて参ります。
では、事務局から資料の説明をお願いいたします。

【事務局】

資料1「プラン検討部会における各委員からの意見」及び資料2「北海道病院事業改革推進プラン【改訂版】素案（案）について」について説明。

【部会長】

どうもありがとうございました。

前回の会議で確認した通り、令和3年3月に策定したプランに今回は、修正・追記をするという基本方針で進めています。

前回委員の皆様方からいただいた、いくつかのご意見を反映した素案（案）について事務局から説明がありました。

説明につきまして何かご意見、ご質問ありましたら、お願ひいたします。

【委員】

失礼いたします。旭川医大の牧野です。

前回の、私の発言も反映していただいて、責任を感じておりますが、関連する部分でいくつかちょっと分からないところがありました。

例えば、40 ページ目の課題ですね。デジタル化への対応として、ICT の活用による医療の質の向上とあるのですが、これはどういうことを想定されての文言かということです。

ICT の活用では当然、医療の効率化ですとか、あと経済性ということについては当然向上が見込まれるのですが、医療の質の向上といった場合には、これはどういうことが該当すると考えられているかお聞かせください。

【部会長】

ありがとうございます。事務局から回答をお願いします。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。

具体的に我々がイメージしているのは、現在、羽幌病院の方で準備を進めている、医療用画像データ等を共有するシステムの構築でございまして、これは、例えば救急搬送時等に、転送先に画像データを事前に送って、患者情報の共有を瞬時に行うことで連携をスムーズにする、そういったことで、質の向上に資する取組も進めているところでございまして、こちらを念頭

に記載させていただきました。

【部会長】

ありがとうございます。牧野委員よろしいでしょうか。

【委員】

はい。わかりました。

【部会長】

その他いかがでしょうか。

【委員】

砂川の平林でございます。前回欠席しましたので、その時に議論されたのかもしれませんが、今回追加された項目の中でも、医師の働き方改革は重要な要素だと思うのですが、今回拝見した改訂版の中では、医師の働き方改革というのは、「Ⅳ 医療従事者等の確保対策」という中に含まれていると考えるのでしょうか。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。人材確保対策室の石井でございます。

32 ページで医療従事者等の確保対策の中の、【医師の働き方改革】というところに書かせていただいております。具体的な取組も我々は進めてはおりますけれども、今現在書けるところという中で、ここの2項目の記載ということになっております。

【部会長】

ご説明いただきましたが、平林委員いかがでしょうか。

【委員】

非常に大きな問題で、各病院非常に悩まれている問題かと思うのですが、

もうちょっと具体的なことがあったらいいのかなと感じた次第です。

【部会長】

一応プランの記載としては、幅広く拾うという形になるかと思えます。

よろしいでしょうか。

他いかがでしょうか。

【委員】

苫小牧市立病院の椿でございます。よろしくお願いたします。

42 ページのデジタル化への対応のところ、マイナンバーの利用についてですけれども、この間、国の方が急激にマイナンバーカードの推進を図るということでいろんな施策を打ち出している中で、我々議論した中では、正直なところ、普及に協力するというところで院内掲示等

により普及啓発に努めます、という控え目な表現でしたけれども、国の動きが非常に我々の想定を超える勢いで進んでいるので、例えば、ここに文言を少し書き加えて、「国の動向を見極めながら」とか、そういう表現っていうのはいかがでしょうか。

【部会長】

これは、マイナンバーの導入ということに関してでしょうか。それともデジタル化全般に関してでしょうか。

この資料のデジタル化の対応というところで、「国の動向を踏まえた電子カルテの標準化とか、各種情報システム等も活用」とありますが、漠然としている。マイナンバーについては言及してないのですが、一応国の動向を見ながら、という方針は出しているのですけども、もう少し違う方向でという意味でしょうか。

【委員】

はい。確かに電子カルテのところ、国の動向を踏まえたというところで、恐らく、ベンダーの統合だとかっていうのはまだまだ先になると思うのですけれども、マイナンバーについては、もう既に24年度中とか、具体的な期日が入ってきていますので、もうちょっとこちらの方は急ぐのかなという私は個人的なイメージを持っているところです。

【事務局】

病院局としても今、カードリーダーの方は全ての病院が設置をするとともに、院内掲示による啓発を含めて取り組んでおります。また、ご指摘の通り、国から新しい情報が出てきたところでございます。

当然、我々としてもそれに沿った流れでやっていくことになろうかと思えます。

プランへの書きぶりについては、内部で検討させていただきたいと思えます。

【部会長】

ただいまの部分につきましては、文言を少し追記するかどうか、内部で検討させていただきたいという回答です。よろいでしょうか。

【委員】

また違う点ですけれども、この素案（案）の7ページから始まります各病院の状況です。

収支状況について、収支差のプランが例えば平成29年から令和元年のものに比べても、令和3年度だけ収支差がどの病院も、プランとして収支はマイナスのほうにかなり振れて、書かれています。そうでありながら実績は、ほぼ横ばいということでここに記載されている状況の通りでよろしいのですけども、なぜ令和3年度だけプランの収支差がこれだけマイナスに振れたのかというのが、どこにも書かれていないのですが、これはどういうことでしょうか。

【部会長】

例えば8ページの一番上ですね、コロナ感染症の影響で医業収益が減少したという文言がありますので。令和2年度もコロナの影響があったはずですけども。

【委員】

これはやはり、コロナの影響を見込んでプランとしては、少し下振れさせたという解釈でよろしいでしょうか。

【事務局】

令和3年度の目標値については、まだコロナの状況が分からない状況の中での、予算要求ベースで収支計画を立てております。患者数の減などによって、コロナの影響を加味した収支予算をプランの目標としたことから、前年度計画、前回の計画年度までのプランの計画よりも悪く見えてしまっているということになっております。

【委員】

分かりました。ありがとうございます。

【部会長】

他いかがでしょうか。よろしいですか。

～特になし～

本日いただいた意見の中で、修正・追記の検討が必要な部分は、マイナンバーカードに関連した部分になります。こちらについては、事務局の方で検討することです。もし本日提示したプラン素案（案）の文言が修正等になった場合、時間の関係もありますので、私の方に調整については、一任させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

～委員一同了承～

ありがとうございます。

異議がないようですので、そのように取り計らっていただきたいと思います。

では次に、次第3の「その他」について事務局から説明お願いいたします。

【事務局】

それでは次回の検討部会についてでございますが、来年1月下旬から2月上旬の間で開催を予定しております。後日、事務局から各委員にご都合を伺いたいと思いますので、よろしくお願いたします。以上でございます。

【部会長】

今回は1月下旬から2月上旬にということですので、是非ご参加いただきたいと思います。

その他、委員の皆様から何かご意見とかございませんか。

では無いようでございますので、以上をもちまして、本日の部会を終了いたします。どうもありがとうございました。